

郡司様



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLY BULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

PUT LIFE
INTO
ROTARY-
YOUR LIFE

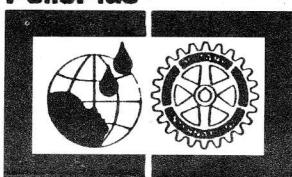
ロータリーに
活力を--

あなたの
活力を



1月2月会員増強月間

PolioPlus



●次回卓語予定者

1988.12.16.(金) 第58回例会

本日のプログラム

1. 点鐘
2. ロータリーソング（我等の生業）
3. 「四つのテスト」唱和
4. 会長の時間
5. 幹事報告
6. 各委員会報告
7. 会員卓話
8. 点鐘

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日(12:30~13:30)

例会場 ホテル神宮寺 TEL 0985-73-0015

事務所 〒880-03 佐土原町大字上田島1883番地
TEL 0985-74-1078

会長 山脇 忍
副会長 池田 仁志
幹事会 芹澤 藤数馬
計佐野 保
会報委員長 垂水 敏雄

第57回例会記録（昭63・12・9）

会長挨拶 山脇 忍

皆さん こんばんは。 本日は第57回例会であります。

本日は年次総会となっておりますが、これは次年度の理事及び役員を選出する大事な行事であります。

ロータリーという言葉の通り、会長、各役員及び理事は1年で交替することになっております。

理事及び役員の選出は、クラブ細則に定めるところに従って実施するわけでありますが、会員の中から定数の理事が選ばれ、理事の互選で副会長が選出されます。

また、幹事、会計及びSAAを選出します。

会長は、理事の中からクラブ奉仕及びその他の三大奉仕委員長を任命します。

なお、選ばれた理事及び役員は1989年7月1日に就任しますが、それ以前に、——多分1989年3月から5月までの間に——会長エレクトセミナー及び地区協議会（毎年5月までに開かれる新年度クラブ役員のための研修会）に出席して、それぞれの活動について研修を受けることになっています。

以上でございますのでよろしくお願ひいたします。

ロータリーは親睦に始まり、これから職業奉仕が生まれ、社会奉仕に展開して、そこから国際奉仕の花を咲かせるといわれています。

ロータリーには4つの道（Avenue）があります。

これを樹にたとえるならば、根に相当するのがクラブ奉仕であり、親睦であり、友愛であります。

この根が力強く大地に広がって樹は成長するであります。

幹にあたるのが職業奉仕であり、その上で大きな広がりを見せており枝の部分が社会奉仕であり、その先端で線に輝いている葉が、あるいは花が国際奉仕であります。

国際奉仕はロータリーの花といわれていますが、その花を美しく立派に咲かせるためには、必ず根の部分が最も大事であり、親睦と友愛を深めることであります。

今日は中国の伝統的な健康法として知られている気功法についてお話しします。

気功法の歴史は古く、紀元前20年以前の春秋戦国時代には、すでに気功法による予防法や治療法が行われていたという記録があります。

今日では個人の健康法として広く行われているほか、専門の気功医師が“氣”を患者の患部に放つ「外気療法」が治療として行われています。

実際に大学や国家の医療機関で治療法として研究されています。

「気功法」というのは、呼吸・姿勢・意識を独特の練習法で鍛錬して、“氣”といわれる生体エネルギーを引き出し、氣の通路である、“経路”に沿って体の中に“氣”を運行して身体全体に元気をみなぎらせるというものです。

中国でいわれている具体的な効果としては、生体の抵抗力の増強や、大脳皮質の興奮を抑制する保護作用、神経系の協調力の増強、緊張を取りリラックス作用、また基礎代謝が低下してエネルギー蓄積が向上するなどが挙げられています。

ます。

そのため、慢性疾患や、病気の予防に適しているといわれています。



幹事報告

斎藤数馬

R C 例会時間変更通知が次のように来ており
ます。

- ・都城北 R C 12月20日18:00~
- ・都城西 R C 12月21日18:00~
- ・都城中央 R C 12月22日18:00~
- ・都城 R C 12月23日18:00~

年 次 総 会

山脇会長より

1. 先きほどの挨拶で申し上げましたが、ただ
今から年次総会を開きます。

本日、次年度の会長エレクト・幹事・会計
・S A A 及び 4名の理事を、会員の皆さん
の選挙によって選出していただくわけです
が、前回の例会後の理事会にお諮りして、
候補者を一応推薦してもらいました。

私から候補者名を発表しますので、ご検討
のうえ、ご賛同の方は拍手をもって選挙に
代えさせていただきたいと考えますが、いか
がでしょうか。

(賛成の声多し)

それでは申し上げます。 なお、ご高齢
の会員を早目に役員に就任していただくよう
に配慮させていただきました。

- 次年度会長エレクト 佐野 保
- 次年度幹事 濱田松太郎
- 次年度会計 鈴木 正敏
- 次年度S A A 田村 勝二

- 次年度理事 郡司 武俊
- 同 上 神宮寺利夫
- 同 上 武政 勝
- 同 上 正岡 文郁

以上の方々ですが、次年度の役員及び理事と
してご賛同いただけますでしょうか。

(全員賛同の拍手)

それでは、このように決定いたしました。

2. 次年度副会長は、次年度理事の互選により
選出していただくことになっています。

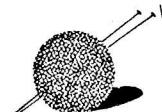
(互選の結果、副会長は次のように決定し
ました。)

- 次年度副会長 神宮寺利夫

3. 次年度四大奉仕部門の委員長は、次年度の
会長が任命することになっていますので、
よろしくお願ひします。

垂水会長エレクトより

- 次年度クラブ奉仕委員長 郡司 武俊
 - 次年度職業奉仕委員長 武政 勝
 - 次年度社会奉仕委員長 神宮寺利夫
 - 次年度国際奉仕委員長 正岡 文郁
- 以上のようにお願いしたいと思いますので、
どうぞよろしくお願ひいたします。



総会終了後、新会員の歓迎会と懇親忘年会が
開かれました。

新会員は、正岡・武政会員がやむを得ない所
用のため出席できず、蛇原会員が代表で祝盃を
受けられました。

なぜか日本酒が好まれ、日頃の焼酎党の一面
を見せられた一夜でした。 (どの飲物にも公
平であるという)

全員盃を交わし、好意と友情を深め、楽しく
なごやかな集いでした。 それでも足りない面
々は、二次会～三次会まで足を延ばしたとか…。

町青年育成町民大会での 高校生の意見発表より

去る12月9日、町中央公民館において、第1回佐土原町青少年育成町民大会が開催されました。

プログラムの中に、小・中・高校生の意見発表がありましたが、高校生の発表をご紹介し、当クラブの今後の地域青少年育成への参考にでもなれば幸いだと思います。

(発表要旨)

現代の若者は挨拶ができないといわれる。

「挨拶」とは、お互い心を開き合って相手に近づいていくことであると鈴木健二さんは言っておられる。

人間関係の中で一番大切なものは、相互に心を開き合うことである。

「さあ、私の中にいらっしゃい。」

「あなたの中にはいりましょう。」

こういう人間関係がなかったら、どんな人間関係も成立しない。

日常、家庭で交す挨拶ことば、「おはようございます。」、「おやすみなさい。」といった基

出席報告

第57回例会 12月9日(金)

会員数	19名
ホーム欠席者数	4名
ホーム出席者数	15名
ホーム出席率	78.95%
マークアップ者数	0名
欠席者名	上田・立山・正岡・武政

本的なものから、「ありがとうございます。」、「いただきます。」、「ごちそうさま。」等の美しいことばが、今ではすっかり影がうすくなっている。

この挨拶ことばの衰えは、潤いを欠いた現代社会の一つの原因になっているような気がしてならない。

最近は核家族化が進み、両親が共働きの家庭も多くなり、「ただいま」と言って家に帰ってきて、「おかえり」という返事がなく、淋しい思いをしているこどもが大勢いることも事実である。

そこで私が提案したいことは、地域の人達みなさんで、「一言挨拶運動」を始めたらどうかということである。

一言、「気をつけて行ってらっしゃい。」とか、「お帰り、今日は早いね。」など気軽に声をかけてほしいのである。

こども達はどんなにか心がなごむことであろう。大人達が美しいことばで呼びかけることで、こども達に挨拶のよろこびを、そして挨拶の意義を教えていただきたい。

地域ぐるみの挨拶運動が、学校や職場そして街角で少しづつでも展開していき、町民みんなが美しいことばをかけ合って、挨拶ではどこにも負けないすばらしい町づくりを進めていってもらいたいものである。

この原稿を書いていた夕方、黙って入室し、鍵を返した後、また黙って出て行った元教師があった。言語障害はない人なのに。

ビジタ-

宮崎北 笠原弘理
高鍋 渕上智
西都仁科俊一郎
〃 浦元孝照